



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



久留米青果株式会社

SDGs 宣言書

当社は、青果物をとおして安心・安全・健康を届け、作る人と食べる人が「共存」できる時代作りのため、SDGsの達成に向け、以下の取り組みを実施していくことを宣言します。

テーマ	具体的な取組	関連するゴール
気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響(地球温暖化)を軽減するための緊急対策を講じる。 (カーボンオフセットの実施)	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  13 気候変動に 具体的な対策を

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは？

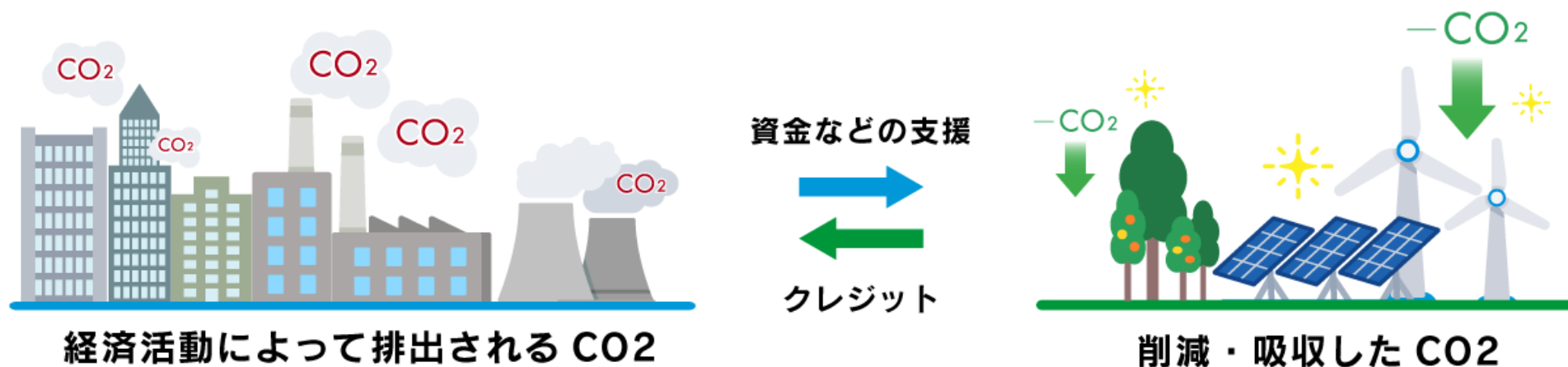
持続可能な開発目標SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

カーボンオフセットの仕組みと実施のポイント

カーボンオフセットとは、人間の活動によって排出される温室効果ガスを、他の場所での同ガス削減・吸収活動で「埋め合わせる」という考え方

📌 カーボンオフセットの仕組み



📌 カーボンオフセットの実施ポイント

カーボンオフセットに取り組むときは、クレジットを「免罪符」にしない、
透明性（十分な説明と情報提供）が欠如しないようにすることが重要

カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットの考え方

カーボン・オフセットは、私たちの活動により排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの排出をまずできるだけ減らすように努力をした上で、それでも排出してしまう温室効果ガスの排出量を、他の場所での削減・吸収活動（削減・吸収量）により埋め合わせようという考え方です。

他の場所での削減・吸収活動とは？

他の場所での削減・吸収活動とは、例えば森林の管理・育成などの森づくりにより二酸化炭素の吸収を促す活動やバイオマス・風力・水力・太陽光発電など再生可能エネルギーの利用や高効率省エネ機器の導入などにより温室効果ガスの削減を実現できる活動であり、私たち自身が行う活動としては実施することが難しいような活動になります。

